



研修医日記

作成者：田中 龍馬（2年次）

こんにちは！田中です。

今年の冬はとにかく雪が多くて寒いです。ですが気合で布団から脱出し、釜臥山でスノーボードをしました。山が海に近く、眺めが良かったです。もう少しで研修も終わりますが、まだまだ知らないむつ市の良さを感じていきたいと思います。

さて、僕は12月に沖縄県立南部医療センター・こども医療センターの救急科で研修をしてきました。運良くコロナが落ち着いている時期であり、研修のためにサポートして下さった方々には本当に感謝しています。僕自身、沖縄に行くのが初めてで、ワクワクドキドキでした。実際に研修が始まると、病院のシステムや言葉が違うことに苦労しました。沖縄は島が多いため、総合診療が根底にある医療なのだろうと感じました。地元の方を診察するときには、津軽弁と沖縄弁で会話する不思議な空間が出来上がっていました。患者数も多く、平日は大変な日もありましたが、休日は体調管理や感染予防をして遊びに行っていました。沖縄での研修で何より良かったのは、新たなつながりが増えたことです。救急の先生方や研修医と知り合い、他県の研修事情や自分が知らない知識を教えてくださいました。それほど広くない界限ですから、今後もお世話になるかもしれません。ご時世もあり、つながりの重要性をより一層感じました。

研修医日記を書くのもついに最後になりました。むつ総合病院は居心地が良く、楽しく研修できました。病院で働く皆さんのおかげです。4月からは泌尿器科医として新天地で勤務します。残り短いですが、よろしく願いいたします。



※日記の作成日と当ページへの掲載日は異なる場合があります。